



描けるかな?!

ハナモモの会の未来予想図

植栽養成講座を企画?

再生団地の斜面に植樹?

2017年以来5回にわたって行ってきた「ハナモモ育樹祭」は、“高森台
県有地の施設周辺にハナモモを市民の手で植え育てることで、地域の名所づくり
と仲間づくりを目指そう”という想いが出発点でした。今年3月高森台県有地に現在ある施設
群周囲の植樹が終わり、あとは手つかずになっている土地の活用を待ってから植樹計画を立てることになりま
す。この事態を見越して2019年には活動（植樹）のエリアを高森台県有地に限定せず高蔵寺ニュータウン
全体に広げることも視野にいれようと、会の名称を「高森台県有地の活用を提案する市民の会」から「高蔵寺
ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」に改めました。

とは言え、植樹にはその場所を所有する産・官・民との話し合いが不可欠。また植樹できたとして後の管理
はどうするのか。「桃源郷」の拡大には課題が山積しているのです。

もちろん今あるハナモモについてはプロの手も借りながら大切に育て、来春には「ハナモモを
観る会」をイベントとして実施する予定です。こちらは今秋より計画を練っていきます。

工場敷地の緑化にハナモモ提案?

公園や遊歩道のアダプト活動?

7月11日、高蔵寺まちづくり株式会社営業企画部・奥田氏とハナモモの会運営
委員（寺島代表、諸戸副代表、眞埜、糟谷。大井は欠席）で懇談いたしました。当会
の“桃源郷”の名にふさわしい、ハナモモの咲き誇る地域を広げていきたいという想いに、
奥田氏からは「未来予想図に“何本植える”など数値目標は据えず、支出面や動機面から共感を
得られやすいプランを考えることが大切」「企業や子どもを呼び込めるプランを」というアドバイスをいた
だきました。またイベントについては「資金や労力、事前準備に無理のない計画で」「失敗を恐れず試みを繰
返す」と、他市の自治会での実例を紹介していただきました。

他の市民団体の活動は大いに参考になる上、同じように地道に地域活性に取り組む人々の話には力づけられます。

7月寺島代表から故郷長野県安曇野市で写真と水彩画の共同作品展を開催し、盛況だったと
報告がありました。会場の入り口には子ども時代の思い出の「花餅」を飾ったそうです。

（花餅は）安曇野地方では今は見ることもなくなりました。飛騨
地方では今でも飾っているという事ですが、私の子供の頃は小正月のころ親
父が近くの雑木林から柳を切ってきて、餅を紅白に染めて小枝にくっつけて床の間に飾りました。
そんな記憶をたどって、会場にそれを模したモニュメントを飾りました。柳の代わりに樺の小枝
を切ってきて花餅は紙粘土でくっつけ、水彩の紅色を塗って花餅に仕立てました。夏なのに正月
の花餅！地元のお年寄りに結構、好評でした。（メール一部抜粋）

葉のない枝に白とピンクの小花。考えてみると花餅とハナモモって
よく似ていますね。県有地の斜面を彩る満開の我らのハナモモは
雪国の人が待ち焦がれる春の景色とイメージが重なってるのかも!?



どうなった!?

いつもと違う今年のヒマワリ



- 背が低ければ支柱を立てずに済むかも（労力軽減のため）
⇒3週間遅く種まき（背が低いまま8月に開花するそう）
- 直根性で移植で弱りがちな性質のため
⇒花壇に直まき（数年前から種苗店に勧められていた）

ヒマワリの満開をご報告したくて会報の発行を遅らせたのですが…

そして今年も種を託して苗を育ててもらう人を募る「ヒマワリ里親作戦」は断念。残念ですが…
まだまだコロナのため顔を近づけての作業は憚られるので。でも市民参加を呼び掛ける「里親作戦」は別の形で再開したいと考えています。



6月10日、種まき。会員とサポーターで行いました。



7月20日、種まき40日後。大きいのは背丈180cm弱。ん？意に反して結構成長？でも雨続きの中ここまで育つとやはり嬉しいものです。



8月4日、花壇の中での開花1号。全体に徒長気味…。とは言え種まきから開花まで昨年より11日早し！



8月15日
全体で7分咲きぐらいか？
下段の方、特に向かって右側はまだ開花しておらず、この先時間差で楽しめそうです。

【おまけ】

毎年の事ですが、堆肥エリアから自生のヒマワリが。木材の下敷きになったのか、地面に押し付けられたような茎をしっかりと天に向かって直角に伸ばし、花壇のヒマワリに先んじて（7月20日）開花！！不屈の精神、健気さ。花のたたくまいにも多くを学ばされます。



この部分で直角に曲がっている

Topic にここご造園さんの草刈り。新人も登場！

7月10日、にここご造園さんに草刈りをお願いしました。時折ザッとゲリラ的に降りつける雨に苦労しながら2日間で一帯がスッキリ綺麗に。

同造園は若いモンゴルの職人さんが多いのですが、今回も一週間前に来日したての見習い青年が参加。草刈り機で小石や草を飛ばして車を傷つけないようにと、真剣な顔でバリケードを掲げていました。

モンゴル人の先輩職人さんに「モンゴルの方は甘い味が好きな気がして」とジュースを数本差し入れると「甘いのが大好きです」とニコリ。

彼らは日本語の上達がすごく早いのです。新人クンともすぐにお話ができるようになりそう。楽しみです。

